

日本学術振興会ストラスブール研究連絡センター活動報告 (2005年4月～6月号)



ストラスブール研究連絡センターに4月より研修生として参りました荒木良江と申します。中谷陽一センター長と力を合わせて日仏学術交流の促進のためにがんばりたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

ストラスブール研究連絡センターは、2001年5月にストラスブール市内の日仏大学会館の2階に設置されました。日仏大学会館はLouis Pasteur大学の植物園のすぐ隣にあり、2階のセンターの窓からはサンモリス教会そしてバルコニーからは天文台も眺めることができます。センター長1名と研修生1名と職員数は少ないですが、センター活動は活発で、センターを訪問する研究者も多く活気にあふれています。

学術セミナーの開催

2003年より、日仏大学会館の協力の下、毎月数回「学術セミナー」を開催しています。毎回さまざまな分野で活躍する日仏の研究者が講師を務めます。参加者20～30名ほどの小規模なセミナーのため、講演後には講師と参加者とが身近にディスカッションを交わすなど内容の濃いものです。

4月～6月は以下の合計9回のセミナーを実施しました。

- 第26回 Prof. Guy SANDNER (Louis Pasteur 大学医学部、JSPS OB)
「精神病の病態生理学：脳機能研究のための新しい概念をもとめて」
- 第27回 中挾知延子教授 (東洋大学国際地域学部)
「情報科学の社会科学への応用：異組織間における情報交換」
- 第28回 Dr. Zhaomin HOU (理化学研究所主任研究員)
「分子触媒のすばらしい世界」
- 第29回 Prof. Jacques-Henry WEIL (Louis Pasteur 大学植物学研究所、JSPS OB)
「遺伝子工学の医学・農学への応用」
- 第30回 平谷和久教授 (宇都宮大学応用化学科)
「分子認識から超分子システムへ：分子機械の構築を目指して」
- 第31回 大原昌宏助教授 (北海道大学博物館)
「生物多様性研究と甲虫分類学」
- 第32回 皆川信子助教授 (新潟薬科大学薬学部)
「化学療法の標的としての alternative oxidase：地球レベルの創薬を目指して」
- 第33回 Prof. Michel ROHMER (Louis Pasteur 大学化学部教授、フランス科学アカデミー会員)
「ホパン (バクテリアトリテルペノイド) の生合成：新しい酵素反応の宝庫」
- 第34回 馬渡峻輔教授 (北海道大学大学院理学研究科)
「分類学とは何か？」



第26回学術セミナー
Prof. Guy SANDNER
(Louis Pasteur 大学医学部)



第30回学術セミナー
平谷和久教授
(宇都宮大学応用化学科)



第33回学術セミナー
Prof. Michel ROHMER
(Louis Pasteur 大学化学部、
フランス科学アカデミー会員)

フランスの大学、グランゼコール、研究機関等での JSPS 事業説明会の実施

2003 年より、40 を越えるフランス各地の大学、グランゼコール、研究機関等で JSPS の事業説明会を行うとともに、学長をはじめとする大学責任者と意見交換を行ってきました。参加者からの来日に関する具体的な質問には JSPS OB をはじめとする日本留学経験者が答えるなど、日本についての関心の高さを肌で感じられる機会でもあります。

今後も積極的に JSPS についての情報発信を行っていく予定です。

- 5 月 24 日 Ecole Polytechnique (パリ)
LSI 研究所、PHT 研究所
- 5 月 25 日 Ecole Normale Supérieure de Cachan (パリ)
Laboratoire de Photophysique et Photochimie Supra-et Macromoléculaires,
Institut d'Alembert
- 6 月 3 日 Louis Pasteur 大学 (ストラスブール) 化学部
- 6 月 15 日 L'Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales (パリ)
日本研究所、中国研究所、歴史研究所
- 6 月 15 日 Maison des Science de l'Homme (パリ)
- 6 月 17 日 Haute Alsace 大学 (ミュールーズ)
Ecole Supérieure des Sciences Appliquées pour l'Ingénieur,
Ecole Nationale Supérieure de Chimie de Mulhouse



Ecole Normale Supérieure de Cachan での事業説明会 (左) 及び同校学長、副学長らとの意見交換会 (右)



L'Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales (パリ) 日本研究所訪問 (左) 及び Haute Alsace 大学 (ミュールーズ) での事業説明会 (右)

第4回 JSPS フォーラム “Oceanography” について

当センターでは 2002 年より毎年 1 回大規模なフォーラムを開催してきました。”Is a Novel Chemistry Possible?” (2002 年、450 名)、“Postgenome” (2003 年、200 名)、“The Universe: Origin, Evolution, Future” (2004 年、250 名)。

2005 年はフランス高等教育及び研究担当省と Louis Pasteur 大学の支援の下、11 月 18 日に “Oceanography” というテーマで開催予定です。フォーラムでは日仏の優れた研究者による講演のほか、若手研究者によるポスター発表などが予定されています。フォーラムの様子はインターネットで全世界に向け中継されます。(<http://www.canalc2.tv/>)

開催日時： 11 月 18 日 8 : 30 ~ 18 : 00

開催場所： Louis Pasteur 大学 (ストラスブール)

講演者及び講演題目：

Dr. John LUDDEN (CNRS-INSU)

Past and Future collaboration between France and Japan in the “Deep Ocean Frontier”

Dr. Masataka KINOSHITA (JAMSTEC)

Understanding the great subduction-zone earthquakes through scientific drilling and observatory at Nankai Trough

Dr. Bernard BARNIER (CNRS-LEGI)

Recent advances in modeling the global ocean/sea-ice circulation at eddy permitting resolution

Dr. Shigenobu TAKEDA (University of Tokyo)

Iron as a key nutrient regulating primary production and carbon cycle in the ocean

Dr. Philippe GROS (IFREMER)

Fisheries dynamics in the Bay of Biscay: keeping exploitation viability in a changing environment

Dr. Ichiro YASUDA (University of Tokyo)

Fisheries Oceanography in the western North Pacific

Dr. Bernard QUÉGUINER (Université d’Aix-Marseille 2)

Nutritional limitations and functional community structure in the pelagic environment: limitation conceptual approach in relation to biogeochemical modeling

中谷陽一センター長レジオン・ドヌール勲章受勲

中谷陽一センター長が、2004年12月31日付けでレジオン・ドヌール勲章シュバリエ章を受章され、勲章伝達式が2005年5月27日にLouis Pasteur大学にて行われました。

レジオン・ドヌール勲章 (Ordre de la Légion d’honneur) とは、1802年にナポレオンにより創設された賞で、国家に対する勲功を表彰することを目的としています。

中谷教授は、1977年よりLouis Pasteur大学にて、CNRS研究員、主任研究員、名誉主任研究員としてウリソン教授 (Prof. Guy Ourisson) (元フランス科学アカデミー会長) と共同で 1 研究グループをもち、「生体膜の進化に関する化学的、生化学的、生物物理学的研究」を精力的に行って優れた研究業績を収め、その実績はNatureなどで高く評価されています。また、多くの博士論文学生や諸外国からのポストドク研究者を指導されました。

また、教育・研究のみならず、長年にわたり Louis Pasteur 大学協約教授として日仏学术交流の発展に貢献され、Louis Pasteur 大学と日本の大学との交流協定の締結にも携わってこられました (東京大学 (89年)、京都大学 (91年)、理化学研究所 (96年)、産業技術総合研究所 (04年)) 等。これによって毎年数十名規模での日仏の研究者の交流が実現しています。また、ヒューマン・フロンティア事務局 (International Human Frontier Science Program Organization) のストラスブール市創立 (89年) を支援されました。

2002年からは日本学術振興会ストラスブール研究センター長を兼務され、幅広く日仏両国の学术交流の促進に尽力されています。



Prof. Guy OURISSON (Louis Pasteur 大学初代学長、フランス科学アカデミー元会長 (左)) と中谷陽一センター長 (右)

フランス同窓会のネットワーク作りの支援

2004年に Association des Anciens Boursiers Francophones de la JSPS (“JSPS フランス同窓会”) が設立されました。

Prof. Marie-Claire LETT (Louis Pasteur 大学) が会長を務めるほか、Prof. Jean-Marie LEHN (Louis Pasteur 大学及び Collège de France 教授、ノーベル化学賞受賞) が名誉会長でもあります。現在のところ会員は 100 名を越え、その数は日に日に増え続けています。当センターでは各地方に同窓会支部を設置すべく今後も同窓会会員のネットワーク作りを支援していく予定です。
(同窓会サイト <http://assoc-jsps.u-strasbg.fr/>)

- 4月11日 フランス同窓会会長 Prof. Marie-Claire LETT (Louis Pasteur 大学植物学研究所) と平成 17 年度同窓会活動計画について打ち合わせを行いました。(中谷、荒木)
- 5月18日 日本学術振興会研究協力第一課清水睦久主任、人物交流課角田亜紀子主任が来所され、Prof. Marie-Claire LETT (学振フランス同窓会会長、Louis Pasteur 大学教授) とフランス同窓会の今後の活動に関する意見交換を行いました。(清水主任、角田主任、中谷、荒木)
- 5月25日 Ecole Normale Supérieure de Cachan (パリ) にて同窓会会計主任 Dr. Robert PANSU (CNRS 主任研究員) と平成 17 年度同窓会活動計画について打ち合わせを行いました。(中谷、荒木)



同窓会会長 Prof. Marie-Claire LETT (Louis Pasteur 大学) と意見交換を行う人物交流課角田主任。



同窓会幹部 Dr. Robert PANSU との打ち合わせ (Ecole Normale Supérieure de Cachan にて)

本年度の同窓会総会日程が以下のとおり決まりました。

開催日時： 11月23日 午前9時より半日間

開催場所： CNRS (パリ)

主なプログラム：

- ・ Prof. Marie-Claire LETT 同窓会会長の挨拶
- ・ Prof. Pierre-Gilles de Gennes (ノーベル賞物理学賞受賞者、JSPS フランス同窓会会員) による講演 "Les tribulations des inventeurs"
- ・ JSPS 事業についての説明 (中谷センター長)
- ・ 同窓会総会

外国人特別研究員 (欧米短期) 事業の実施

当センターでは CNRS と協力して外国人特別研究員 (欧米短期) 募集事業を実施しています。年 2 回合同選考会議を行い、採用候補者を決定し東京に推薦しています。

6月14日に CNRS 本部にて平成 17 年度募集分の第 2 回目の合同選考会議が行われました。

日仏大学会館活動の協力

6月27日～30日に日仏大学会館において、Collège Doctorale Franco-Japonais で日本へ派遣されるフランス大学院生のオリエンテーションが行われました (日仏大学会館主催)。当センターからも中谷センター長が「日本における研究」というテーマで講演し協力しました。